

ご挨拶

校長 原田 信弘

後援会の皆様方には、日頃より本校の教育・研究活動、また学習環境の向上にご理解とご協力をいただき、大変感謝しております。今年度は当初から新型コロナウイルス感染対策ということで、我々教職員も学生達も初めての経験でしたが、オンデマンドによる遠隔授業を基本としてスタートしました。その後、実験・実習を面接授業に切り換え、また他の高校にならって、メンタルヘルスの観点からも、7月から1～3学年は面接授業を導入し、上級生は卒業研究や専攻科の特別研究も再開しました。後期からは全ての学年で面接授業を基本として、徐々に通常の教育環境に戻していくことができました。

その間にも後援会と連携しながら、3密を避けることや換気、ソーシャルディスタンスの確保、手指の消毒など学生をコロナ感染から守るための対応をしてきました。その結果、現在まで教職員や学生にコロナ感染者はなく、また学生寮でもクラスター等の発生はありません。私もこの4月からの赴任で、初めての経験ばかりでしたが多少なりとも感染拡大をくい止める責任が果たせたと考えております。今後も気を抜くことなく、継続してきちんと対応しようと考えています。また、オンラインでの後援会支部懇談会なども初めてでしたが、皆さんの学校への期待と要望など熱い思いを聞かせていただくことができました。

学生たちは遠隔授業への対応などで大変だったとは思いますが、この経験が例えば海外の学生との遠隔グループワーク等につながっており、海外交流の壁を低くすることにもなったと思います。コロナ後に海外渡航が可能となり、面接での国際交流につながれば本当にピンチをチャンスに変えることができると思い、大いに期待しています。

学校行事なども前半まではほとんど実施できませんでしたが、万全なコロナ感染対策をして、中止したスキーツアーを企業見学会に変更したり、留学生の実地見学旅行の短縮実施、さらには冬の寮祭が実施出来たことは大きな自信にもつながりました。今のところ卒業式や入学式は開催する方向で準備しております。（ただし、謝恩会は中止、入場者数制限は有り）

最後に、卒業生たちが起業して地域に貢献しているのはご存じかと思います。現役の4年生が(株)雷神を起業し、学生グループで地域の高齢者向けスマホ教室を開講して、大変好評をいただいております。さらに2年生の女子学生が留学生と共同して、内閣府の「地方創生☆政策アイデアコンテスト」全国大会で優秀賞を受賞し、地域活性化や地方創生で活躍しており、頼もしく思うと共に若い学生たちがさらに積極的にいろんな能力を開花させて社会に貢献できるよう後押しができればと思いますので、後援会の皆様方のご理解とご協力を今後ともよろしく願いして、挨拶とさせていただきます。